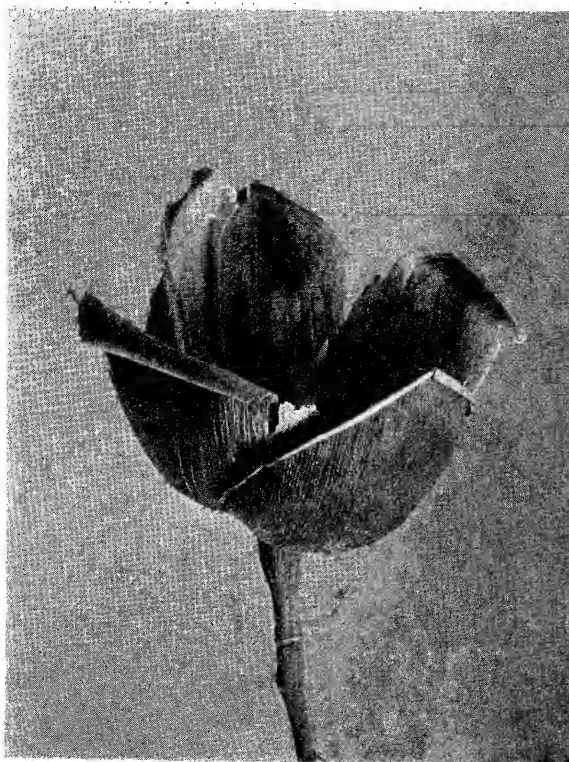


ろう。概形はあらためて記す要もあるまいから写真で見ていたゞくことにしたが、くさ丈は伊達氏の材料では 10 cm である。花色は黄色のはずだが標本では白に見えるが、其点は G. Hegi の *Illustrierte Flora von Mittel-Europa* 中部欧洲植物図説 (4 (1): 270) に “getrocknet oft fast weiss” とあるところから判断して褪色したものと思う。学名の変せんは複雑だが Hegi なり *Pflanzenreich* 70 Heft (4: 105-8) に出ているし、また雑録にそんなものは不用だろう。なを日本にきた経路は不明だが原産地は西部欧州である。

OWood Rose とは何か (久内 清 孝) Kiyotaka HISAUCHI: What is Wood Rose?

ハワイまたはハワイ経由で来る人たちが、ときどき Wood Rose または Wooden Rose なるものをもつてくる。そうして、これがある流儀の生花家に利用されて人の好奇心をそそっている。5 cm ばかりの柄がり、柄のなかほどに托葉の痕らしいものがあり、



Wood-Rose (実物大)

その頂に木化した 5 片の裂片があり、それが相互に縁で重なり合っている。外部は暗色を呈し、いかにも木彫りの装飾品の如く見える (写真参照)。これを原寛博士からハワイ大学の St. John 教授にたゞして貰ったら *Merremia tuberosa* (L.) Rendle の宿存萼を自然乾燥させたものとわかった。これは萼片だけでそれ以内の器官はすべてとり除いてあるがときには萼が残っていることもある。別に知人が偶然このなかゝら種子を見つけ発芽させたら 6-7 裂の葉が出た。そこで *Botanical Register* (1823) の図とくらべたらまさに一致した。つまり Wood Rose とか Wooden Rose なる名はこの植物の宿存萼に与え

た名で植物名ではない。最近わかったことだが、東京の三井の戸越農園に生品がある。